

# 環境活動レポート

平成 29 年度版

(第 10 版：平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月)



平成 30 年 4 月 27 日作成

株式会社 千葉環境ビジネス



# ■地球を守る 「護美」最前線

株式会社 千葉環境ビジネス 代表取締役 大森 悌次

人間の暮らすところには必ず廃棄物が発生します。ゴミは人の営みの証しと言えるでしょう。温暖化や大気汚染など地球の環境に大きな変化と破壊が進行する中、廃棄物の問題は、現代社会のもっとも深刻な課題のひとつとなりました。かつて廃棄物処理は3Kと呼ばれた業界ですが、今や時代の最先端業種といっても過言ではありません。

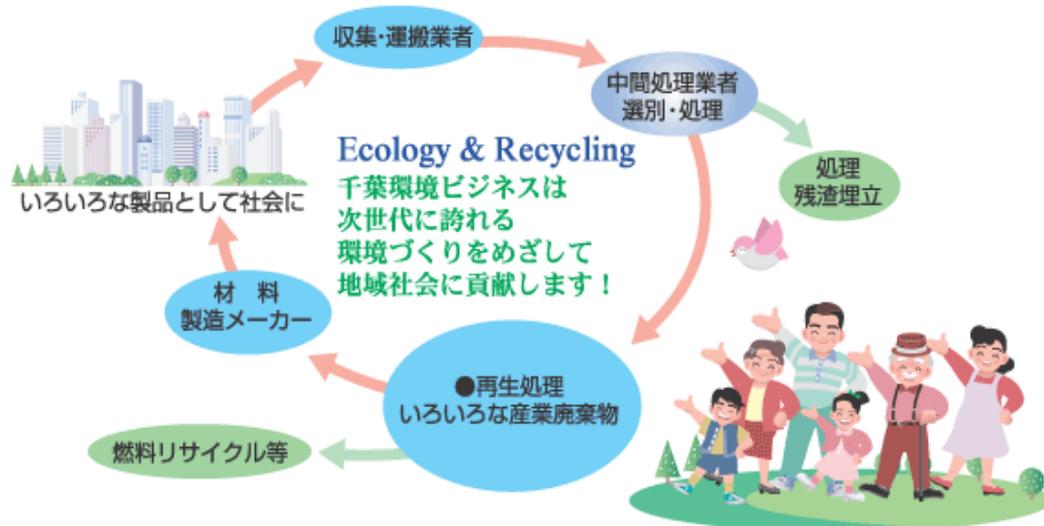
山林への不法投棄や廃油放置などのニュースが流れ、ともすれば「やっかいもの」と思われがちな産業廃棄物ですが、その多くは、分別・破碎・圧縮などの処理により、再利用可能な形に生まれ変わります。

千葉環境ビジネスは創業以来「産業廃棄物」を専門に扱い、適正な処理で地球レベルの環境を守るとともに、資源の節約やリサイクルに貢献してまいりました。

「廃棄物」という言葉には、不要のもの・価値のないものというニュアンスがあります。しかし実はゴミには、価値を創出する無限の可能性が秘められているのです。私どもの仕事は、その可能性を引き出すひとつの重要なステップだと考えています。

昔、ゴミ箱は「護美箱」とも書かれました。これは、ゴミの適正処理で地球の美しい環境を守る千葉環境ビジネスの姿勢には、まさにぴったりの言葉でしょう。

私たちの仕事は最先端の「護美」ですと、今こそ胸を張って申し上げたいと思います。これからも、エコアクション21環境経営システムを活用し、地球と社会に役立つ「護美」の仕事に邁進して行きます。



## 1. 環境方針

### 企業理念

千葉環境ビジネスは「護美」の心をモットーに、地球の美しい環境を守るとともに、資源の節約やリサイクルに貢献しています。

これからも一層、ゴミの価値を創出し、当社の関係する環境関連法等を遵守し、地球温暖化防止と循環型社会に貢献するために、以下の環境目標に取り組めます。

### 行動指針

1. 環境関連の法規制、及び当社が同意した業界等の行動規範を順守します。
2. 排出事業者とともに再資源化方法の検討や当社の選別作業の強化により、受入廃棄物のリサイクルを促進します。
3. 省エネ・省電力対策を推進し、CO<sub>2</sub>ガスの排出量を抑制します。
4. 雨水の利用や節水により、水使用量の削減を計ります。
5. 自社からの廃棄物の排出を削減します。
6. グリーン購入を積極的に推進します。
7. 環境経営システムを活用し、優良産廃処理業者認定制度適合の拡大を目指します。
8. 環境方針は、全従業員に周知するとともに、公表します。

平成 19 年 8 月 21 日制定

平成 28 年 5 月 6 日改訂

株式会社 千葉環境ビジネス  
代表取締役 大森 悌次

## 2. 組織の概要

- ・名 称 株式会社千葉環境ビジネス
- ・代 表 者 代表取締役 大森 悌次
- ・設立年月日 平成 8 年 4 月 18 日
- ・資 本 金 1,000 万円
- ・所 在 地 本社： 千葉市緑区あすみが丘東 1 丁目 28 番 15 号  
千葉環境リサイクルプラント： 千葉市若葉区中野町 1691 番地 7、9、11 の一部
- ・環境管理責任者 専務取締役 飯島 伸行  
壁 明彦
- ・担当者連絡先（電話・メール） (TEL: 043-205-2401、Email: info@chibakankyo.co.jp)
- ・ホームページの URL <http://www.chibakankyo.co.jp>

### 3. 事業の規模

年 度 (4月～3月)	H27 年度	H28 年度	H29 年度
廃棄物処理量 (t)	18,981	19,895	19,068
売上高(百万円)	914	900	2018.5月決算
従業員	28	30	30
敷地面積 (m <sup>2</sup> )	6,517	6,517	6,517

### 4. 登録範囲

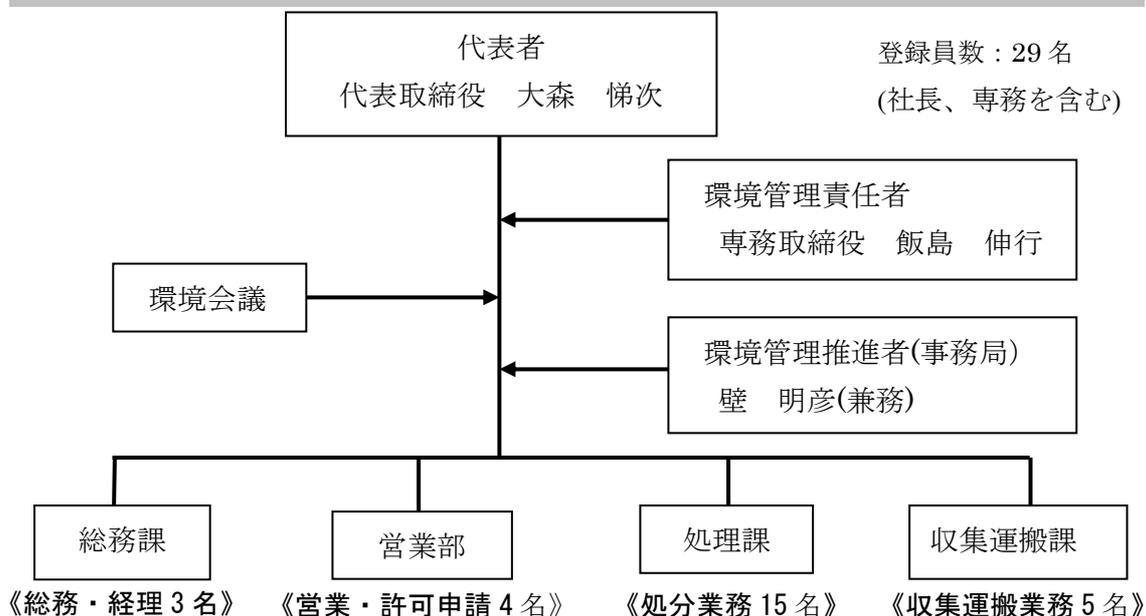
#### 4.1 登録事業所

- ・ 本社：千葉市緑区あすみが丘東1丁目28番15号
- ・ 千葉環境リサイクルプラント（中間処理場）：千葉市若葉区中野町1691番地7

#### 4.2 事業内容

- ・ 産業廃棄物中間処理業
- ・ 産業廃棄物収集・運搬業
- ・ 特別管理産業廃棄物収集・運搬業
- ・ 金属くず・古紙及びプラスチック類のリサイクル業
- ・ 鉄鋼及び非鉄金属類の売買業

### 5. 組織図



#### <役割・責任>

代表者：環境方針の策定。代表者による EA21 活動の見直し。必要な経営資源の投入。

環境管理責任者：環境経営システムの確立・実施・維持。社長見直し時に状況報告。

環境管理推進者：事務局、EA21 活動及び結果の報告。



## 7. 環境保全技術に関する資格保有状況

### [7-1] . 環境保全技術に関する資格取得状況

#### ① 収集・運搬に関する資格取得状況

	H26 年度	H27 年度	H28 年度
・安全運転管理者	1 名	1 名	1 名
・大型自動車第 1 種	6 名	10 名	8 名
・小型移動式クレーン	2 名	2 名	2 名
・玉 掛	4 名	4 名	3 名
・危険物乙種第 4 類	3 名	3 名	3 名

#### ② 処分施設に関する資格取得状況

	H26 年度	H27 年度	H28 年度
・車両系建設機械（整地）	7 名	8 名	8 名
・フォークリフト技能	4 名	10 名	7 名
・危険物乙種第 4 類	2 名	3 名	2 名

### [7-2] . 産業廃棄物の処理に係る講習会修了者

産業廃棄物および特別管理産業廃棄物処分業の許可申請に関する講習

#### ①（特別管理産業廃棄物収集・運搬課程）

財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター

平成 27 年 11 月 13 日 第 315127030 号 1 名

#### ②（特別管理産業廃棄物処分課程）

公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター

平成 26 年 10 月 30 日 第 414136039 号 1 名

## 8. 廃棄物処理施設・収集運搬等の状況

### 〔8-1〕 処分施設

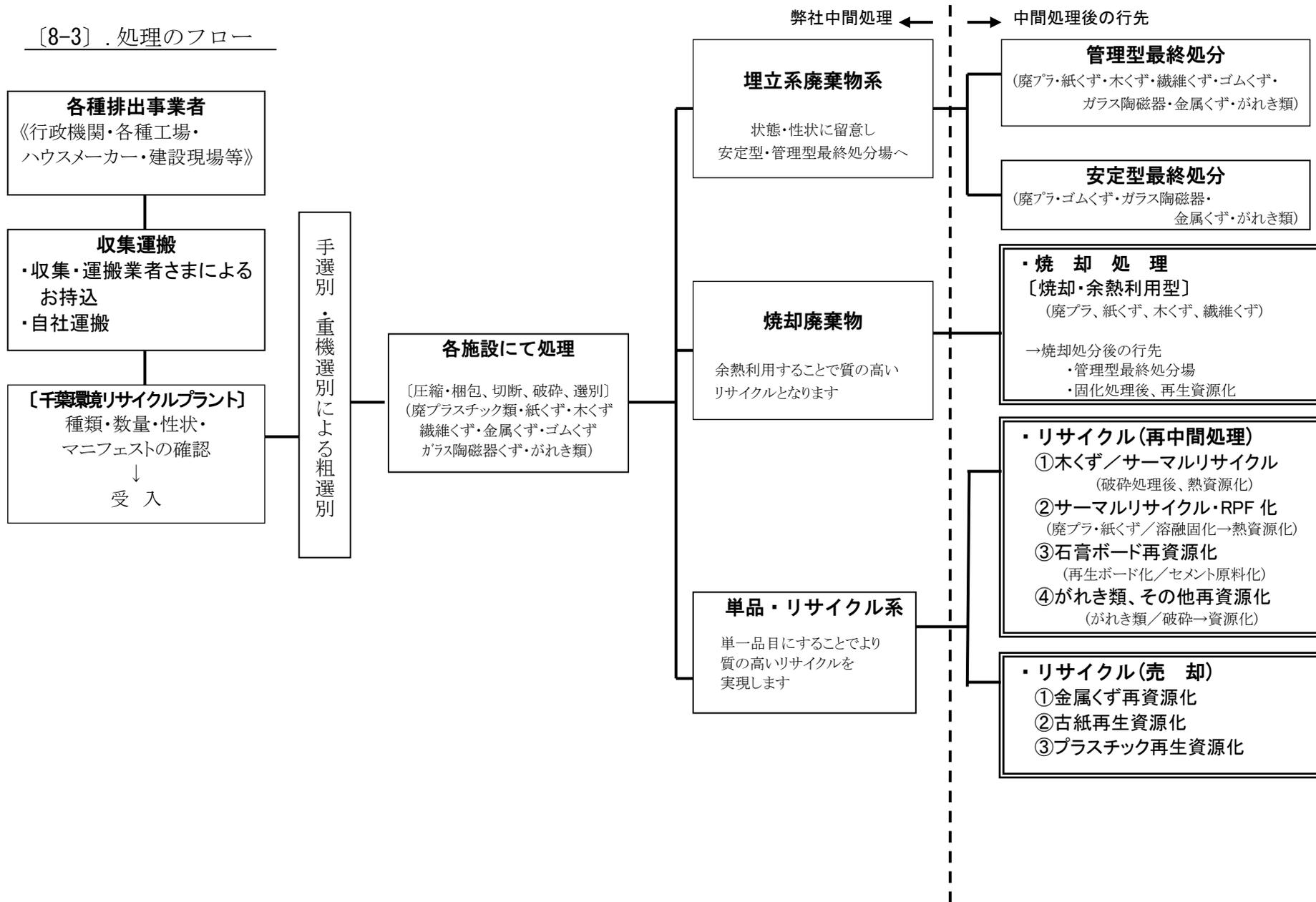
施設の種類(設置年月日)	取扱品目	処理能力	数量
<b>圧縮・梱包施設</b> (H15. 7/4) (H18. 3/20 繊維, ゴム追加)	廃プラスチック類 紙くず 木くず 繊維くず ガラスコンクリ陶磁器 ゴムくず 金属くず	5.34t/日 22.24t/日 69.92t/日 22.48t/日 25.20t/日 3.58t/日 2.96t/日	1
<b>切断施設</b> (H18. 3/20) (H19. 3/12 紙, 金属, ゴム追加)	廃プラスチック類 木くず 繊維くず 紙くず 金属くず ゴムくず	3.58t/日 4.92t/日 3.58t/日 3.60t/日 3.20t/日 4.32t/日	1
<b>破砕施設</b> (H19. 3/12) (H24. 2/22 破砕機の変更)	廃プラスチック類 木くず 繊維くず	3.58t/日 4.92t/日 3.58t/日	1
<b>選別施設①(ふるい機①)</b> (H24. 2/22 ふるい機追加)	廃プラスチック類 紙くず 木くず 繊維くず 金属くず ガラスコンクリ陶磁器 がれき類	133.32t/日	1
<b>選別施設②(ふるい機②)</b> (H19. 3/12 設置) (H20. 8. 20 ふるい機の変更)	廃プラスチック類 紙くず 木くず 繊維くず 金属くず ガラスコンクリ陶磁器 がれき類	134.4t/日	1
施設所在地：千葉市若葉区中野町 1691-7、1691-9、1691-11 の一部 (H24. 2/22 施設面積の拡張)			

[8-2] . 保管施設

施設の種類	保管面積	保管高さ	保管上限	数量
ガラス,コンクリート及び陶磁器くず	36.83 m <sup>2</sup>	1.40m	40.19 m <sup>3</sup>	1
がれき類	36.83 m <sup>2</sup>	1.40m	40.19 m <sup>3</sup>	1
廃プラスチック類、紙くず、木くず、 繊維くず、ゴムくず、金属くず、 ガラスコンクリ陶磁器くず、がれき類	36.83 m <sup>2</sup>	1.40m	40.19 m <sup>3</sup>	1
廃プラスチック類、紙くず、木くず、 繊維くず、ゴムくず、金属くず、 ガラスコンクリ陶磁器くず、がれき類	75.01 m <sup>2</sup>	1.40m	81.77 m <sup>3</sup>	1
廃プラスチック類、紙くず、木くず、 繊維くず、ゴムくず、金属くず、 ガラスコンクリ陶磁器くず、がれき類	47.45 m <sup>2</sup>	2.50m	72.85 m <sup>3</sup>	3
廃プラスチック類、紙くず、木くず、 繊維くず、ゴムくず、金属くず、 ガラスコンクリ陶磁器くず、がれき類	69.55 m <sup>2</sup>	2.50m	106.79 m <sup>3</sup>	1
廃プラスチック類、紙くず、木くず、 繊維くず、ゴムくず、金属くず ガラスコンクリ陶磁器くず、がれき類	58.83 m <sup>2</sup>	2.42m	89.14 m <sup>3</sup>	1
廃プラスチック類、紙くず、木くず、 繊維くず、ゴムくず、金属くず ガラスコンクリ陶磁器くず、がれき類	58.83 m <sup>2</sup>	2.56m	91.04 m <sup>3</sup>	1
廃プラスチック類、紙くず、木くず、 繊維くず、ゴムくず、金属くず ガラスコンクリ陶磁器くず、がれき類	7.99 m <sup>2</sup>	—	8.2 m <sup>3</sup>	6
(処理後) 廃プラスチック類	7.99 m <sup>2</sup>	—	8.2 m <sup>3</sup>	2
(処理後) 紙くず	7.99 m <sup>2</sup>	—	8.2 m <sup>3</sup>	1
(処理後) 木くず	7.99 m <sup>2</sup>	—	8.2 m <sup>3</sup>	1
(処理後) 繊維くず	7.99 m <sup>2</sup>	—	8.2 m <sup>3</sup>	1
(処理後) ゴムくず	0.25 m <sup>2</sup>	—	0.2 m <sup>3</sup>	3
金属くず	53.89 m <sup>2</sup>	2.38m	89.62 m <sup>3</sup>	1
(処理後) ガラスくずコンクリート陶磁器	7.99 m <sup>2</sup>	—	8.2 m <sup>3</sup>	1
(処理後) 廃プラスチック類、紙くず、木くず、 繊維くず	47.45 m <sup>2</sup>	2.50m	72.85 m <sup>3</sup>	1
(処理後) 廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず ガラスコンクリ陶磁器くず、がれき類	36.83 m <sup>2</sup>	1.40m	40.19 m <sup>3</sup>	1

(処理後) 廃プラスチック類、紙くず、木くず、 繊維くず、ゴムくず、金属くず ガラスコンクリ陶磁器くず、がれき類	36.83 m <sup>2</sup>	1.40m	40.19 m <sup>3</sup>	1
(処理後) 廃プラスチック類、紙くず、木くず、 繊維くず、ゴムくず、金属くず ガラスコンクリ陶磁器くず、がれき類	56.95 m <sup>2</sup>	2.35m	96.15 m <sup>3</sup>	1
(処理後) 廃プラスチック類、紙くず、木くず、 繊維くず、ゴムくず、金属くず ガラスコンクリ陶磁器くず、がれき類	63.70 m <sup>2</sup>	2.50m	97.80 m <sup>3</sup>	1
(処理後) 廃プラスチック類、紙くず、木くず、 繊維くず、ゴムくず、金属くず ガラスコンクリ陶磁器くず、がれき類	133.42 m <sup>2</sup>	2.24m	226.0 m <sup>3</sup>	1
製品保管施設	7.6 m <sup>2</sup>	-	12.16 m <sup>3</sup>	4
施設所在地：千葉県若葉区中野町 1691-7、1691-9、1691-11 の一部 (H27.8/25 更新許可) (H29.1/13 保管施設の変更)				

[8-3] . 処理のフロー



[8-4] 収集運搬許可関係

8-4-1. 産業廃棄物収集運搬登録車両一覧

車両の形式	最大積載量(kg)	保有台数(台)
脱着装置付コンテナ専用車	3,850	2
脱着装置付コンテナ専用車	3,600	1
脱着装置付コンテナ専用車	3,550	1
脱着装置付コンテナ専用車	8,200	1
脱着装置付コンテナ専用車	8,000	1
キャブオーバ (クレーン付)	2,850	1
キャブオーバ	2,000	1
ダンプ	2,000	1
軽・貨物	350	2

**合計車両台数**

**11 台**

[8-5] 産業廃棄物業実績と主要環境負荷実績

実 績	H27 年度	H28 年度	H29 年度
産廃収集運搬量 (t)	6,143	5,565	5,526
産廃中間処理量 (t)	18,981	19,895	19,068
産廃再資源化量 (t)	18,064	14,480	16,926
電気使用量 (kWh)	48,496	49,620	61,783
軽油使用量 (ℓ)	151,830	144,022	131,950
ガソリン使用量 (ℓ)	8,233	8,036	6,675
二酸化炭素排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	443,190	422,997	393,964
水使用量 (m <sup>3</sup> )	56	55	58
自社廃棄物量 (t)	-	354	361

[8-6] 廃棄物処理料金

・処分料金提示方法

産業廃棄物の処理料金につきましては、種類・性状・量・処理の難度等により変わるため、個別に算出・ご提示させていただきます。

-

## 9. 環境目標と実績

### [9-1] 第4次中期環境目標 (中期：H29～H31年度)

項目		単 位	H28年実績	第4次中期計画			
				H29年度	H30年度	H31年度	
温室効果ガス	電力使用量 (注)	リサイクルプラント	kWh/年	41,654	53,506	56,785	60,122
			kWh/処分量	2.09	2.68	2.70	2.73
		本社	kWh/年	7,966	8,000	8,000	8,000
		全社合計	kWh/年	49,620	61,506	65,785	68,122
	軽油使用量(重機) (リサイクルプラント)		ℓ/年	100,805	101,200	111,100	120,960
			ℓ/処分量	5.07	5.06	5.05	5.04
	軽油使用量 (収集運搬車)		ℓ/年	43,217	45,430	47,430	49,400
			ℓ/運搬量	7.77	7.70	7.65	7.60
	ガソリン(営業車、本社)		ℓ/年	8,036	8,400	8,700	9,000
	都市ガス(本社)		m <sup>3</sup>	263	263	263	263
プロパンガス(リサイクルプラント)		N m <sup>3</sup>	123	123	123	123	
温室効果ガス排出量(*)		Kg-CO <sub>2</sub> /年	422,997	436,688	470,270	503,698	
水資源使用量	本社	m <sup>3</sup>	54.5	60	60	60	
	リサイクルプラント	チェックシート	15	15	15	15	
一廃の自社排出量		kg/年	354	350	350	350	
産廃の収集運搬量(注)		t/年	5,565	5,900	6,200	6,500	
産廃の中間処理量(注)		t/年	19,895	20,000	21,000	22,000	
産廃の再資源化量(注)		t/年	14,480	18,600	19,740	20,900	
中間処理後の廃棄物量(注)		t/年	1,852	1,900	2,000	2,150	
グリーン購入(チェックシート)		点	15	15	15	15	

注)電力の二酸化炭素排出量算出は、排出係数0.505kg-CO<sub>2</sub>/kWh(東電、H26年度実排出)を用いています。

#### 【設定の基本的な考え方】

- H28年度実績から産廃収集運搬量は3年間で1000 t、中間処理量は2000t増を図る。又、産廃の再資源化率向上に努め、H30年の再資源化量21,000tを目指す。処理廃棄物の品質悪化に対しては分別強化を図り処理後の廃棄処分量を削減する。
- 電力使用量は、リサイクルプラントでは産廃の再資源化向上の為に、篩と分別工程の稼働増で電気使用量は増加とした。本社は現状の横這いとする。
- 軽油は、収集運搬車は積載率悪化をエコドライブで原単位を3年間で2%、重機は作業効率向上で3年間で0.5%削減する。営業車は営業範囲の拡大で走行距離の伸びが予想されが、燃費はH28年実績を維持しつつ、使用量は増加とした。
- 都市ガス、プロパンガスはH28年実績を維持する。

## [9-2] 中期環境活動計画

H29年度～H31年度の主な環境活動は次のとおりです。

区分	項目	環境活動実施内容
一酸化炭素の削減	収集運搬車両及び重機の軽油使用量の削減	① エコドライブ教育
		② アイドリングストップ
		③ 燃費管理データ収集
		④ 定期点検の徹底
		⑤ 低燃費車の導入
	電気使用量の削減	① 節電告知ラベル貼付
		② グリーン製品・機器への切替
		③ エアコン省エネ設定運転
		④ パソコン省エネモード継続
		⑤ クールビズ・ウォームビズの展開
廃棄物の削減	最終処分量の削減	① 手分別作業の改善
		② 分別作業の標準化
		③ 処分方法の見直し
	リサイクルの拡大	① 排出事業者への分別提案
		② PR紙、環境活動レポートの配付
		③ リサイクルネット整備・拡充
水資源・排水	地下水使用量の削減	① 浸透マスの整備
		② 雨水利用
		③ 洗車水、散水の節約
グリーン購入	省エネ基準適合製品の購入	省エネ型エアコンの購入
	再生材料からの製品を優先購入	コピー用再生トナーの使用
	再生紙、未利用繊維への転換	再生紙の優先購入

評価基準 (50%未満× 70%未満△ 90%未満○ 90%以上◎)

[9-3] H29年度活動実績

●環境目標とその実績及び達成率 (活動期間：H29年4月～H30年3月での実績評価)

項目		単 位	中期基準 H28 年実績	H29 年度			
				目標値	実績値	達成率 (%)	
温室効果ガス	電力使用量	リサイクルプラント	kWh/年	41,654	53,506	53,315	100
			kWh/処分量	2.09	2.68	2.80	96
		本社	kWh/年	7,966	8,000	8,468	94
		全社合計	kWh/年	49,620	61,506	61,783	100
	軽油使用量(重機) (リサイクルプラント)	ℓ/年	100,805	101,200	97,690	104	
		ℓ /処分量	5.07	5.06	5.12	99	
	軽油使用量 (収集運搬車)	ℓ/年	43,217	45,430	34,260	132	
		ℓ/運搬量	7.77	7.70	6.20	124	
	ガソリン(営業車、本社)	ℓ/年	8,036	8,400	6,756	124	
	都市ガス(本社)	N m <sup>3</sup>	263	263	196	134	
LPG ガス(リサイクルプラント)	m <sup>3</sup>	123	123	92	134		
<b>温室効果ガス排出量(注)</b>		<b>Kg-CO<sub>2</sub>/年</b>	<b>422,997</b>	<b>430,676</b>	<b>393,964</b>	<b>109</b>	
水資源使用量	本社	m <sup>3</sup>	55	60	58	103	
	リサイクルプラント	チェックシート 点数	15	15	15	100	
一廃の自社排出量		kg/年	354	350	360	97	
産廃の収集運搬量		t/年	5,565	5,900	5,526	94	
産廃の中間処理量(注)		t/年	19,895	20,000	19,068	95	
産廃の再資源化量(注)		t/年	14,480	18,600	16,926	91	
中間処理後の廃棄物量(注)		t/年	1,858	1,900	1,425	133	
グリーン購入(チェックシート)		チェックシート 点数	15	15	15	100	

注：電力の排出係数 0.505 kg-CO<sub>2</sub>/kWh

●H29年度の主な環境活動実施結果

区分	項目	環境活動実施内容	評価
二酸化炭素の削減	収集運搬車両及び重機の軽油使用量の削減	② エコドライブ教育	◎
		② アイドリングストップ	○
		③ 燃費管理データ収集	◎
		④ 定期点検の徹底	○
		⑤ 低燃費車の導入	○
	電気使用量の削減	① 節電告知ラベル貼付	△
		② グリーン製品・機器への切替	○
		③ エアコン省エネ設定運転	△
		④ パソコン省エネモード継続	○
		⑤ クールビズ・ウォームビズの展開	△
廃棄物の削減	最終処分量の削減	① 手分別作業の改善	◎
		② 分別作業の標準化	◎
		③ 処分方法の見直し	○
	リサイクルの拡大	① 排出事業者への分別提案	○
		② PR紙、環境活動レポートの配付	○
		③ リサイクルネット整備・拡充	◎
水資源・排水	地下水使用量の削減	① 浸透マスの整備	○
		② 雨水利用	◎
		③ 洗車水、散水の節約	○
グリーン購入	省エネ基準適合製品の購入	省エネ型エアコンの購入	○
	再生材料からの製品を優先購入	コピー用再生トナーの使用	○
	再生紙、未利用繊維への転換	再生紙の優先購入	○

評価基準（50%未満× 70%未満△ 90%未満○ 90%以上◎）

H29年度の環境活動結果は上記のとおりでした。  
H30年度は△や○の項目が○や◎になるように全員で取り組みます。

## [9-5] H29 年度活動結果の評価・考察

### 1. H29 年度の環境活動概況

リサイクルプラントに H24 年 2 月篩機導入以来、処理品の品質向上に取り組んで来た。年度毎に作業効率や分別後の品質が向上し、H29 年度は再資源化量が大幅に増加した。また、処理後の廃棄物も大幅に削減した。CO2 排出量は再資源化量増加で電気の比率が増した。しかし、重機や運搬車輛の軽油使用量、及び営業車のガソリン削減で目標を達成した。

### 2. CO<sub>2</sub>ガスの排出抑制活動

#### (1) 電気の使用量

- ①リサイクルプラントは H29 年度～H31 年度中期計画で篩機による再資源化量拡大を重点テーマとし、電気使用量は再資源化量に見合った値とした。H29 年度の再生資源量は前年比で 117%と増加し、処理後の廃棄物は 77%と削減した。電気使用量はほぼ目標を達成したが、前年比で 128%と使用量が増加した。
- ②本社は、冬場の寒気の影響でエアコンの暖房使用が多くなった。急遽、ガスファンヒーターも導入したが目標未達成であった。前年比で 106%と増加した。

#### (2) 軽油使用量

- ①重機の軽油使用量は篩機設置効果で H29 年度目標値を達成した。前年比 97%であった。
- ②収集運搬車輛の軽油使用量は収集運搬の小口化に対応して軽トラックを追加した事により軽油使用量は大幅に削減できた。エコドライブの徹底も成果に繋がった。前年比では 79%と大幅削減であった。

#### (3) ガソリン使用量

営業強化で自動車台数と営業距離増加を見込み目標値を増加したが、H29 年度はエコドライブを徹底し目標を達成した。前年比では 83%の減少であった。

### 3. 産業廃棄物の収集運搬、中間処理、再資源化等

- (1) 産廃収集運搬量及び中間処理量は、処分費増による市況冷え込みの中で営業努力により H29 年度はほぼ目標どおりであった。
- (2) 再資源化量は、再資源化の徹底で前述のとおり前年対比で大幅に伸ばすことが出来た。再資源化率は 85%であった。
- (3) 処理後の廃棄物発生比率は、従来 9%であったが 7%に抑制できた。中間処理量確保の為、受入産廃の質の低下が避けられなかったが、最終的な廃棄の前に再度手選別を行い成果を挙げる事が出来た。

### 4. グリーン購入及び産廃業優良認定の維持、その他

- (1) 優良産廃処理業者認定制度で優良認定された許可証は、収集運搬業では茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県です。特管収集運搬業では東京都、神奈川県です。又、千葉市処分業、群馬県、山梨県、静岡県の収集運搬業及び千葉県特管収集運搬業は今後申請予定です。
- (2) グリーン購入は計画通りの進捗です。化学物質の使用はありません。

## 5. 地域環境活動

リサイクルプラントでは定期的に敷地周辺の清掃を行っています。  
今後も全員で地域の環境保全に尽くしていきます。



### [9-6] 次年度の取組内容（H30年度）

H30年度はP. 12に示した中期環境活動計画に基づき活動を推進します。  
環境活動テーマや環境目標の変更はありません。  
また、環境活動はP. 13の内容に加えて、目標未達成であった本社の冷暖房対策について関係者で知恵を出し合って改善していきたいと思いを。

## 10. 環境関連法規の順守状況 & 訴訟の有無

当社が遵守しなければならない主な環境関連法規等は次の通りです。

- ・廃棄物処理法
- ・道 防 法
- ・自動車NO<sub>x</sub>・PM法
- ・労働安全衛生法
- ・建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律
- ・使用済自動車の再資源化等に関する法律
- ・特定家庭用機器再商品化法
- ・道路運送車両法
- ・道路交通法
- ・振動規制法、騒音規制法
- ・フロン排出抑制法

H30年2月に遵法性評価を行った結果、環境関連法規への違反はありませんでした。  
また、関係当局よりの指摘及び訴訟は、過去3年間ありませんでした。

## 11. 代表者による全体評価と見直し

H30年4月20日に社長による全体評価と見直しを実施した。

報告項目	管理責任者からの報告内容	結果
環境経営システム構築	EA21 推進システムの変更はない。	○
環境目標	第4次中期計画を策定し活動を推進した。産廃収集量と産廃処理量は前年並みであったが、再資源化量は大幅に増加し、最終処分量も削減した。その結果、リサイクルセンターの電気使用量は増加したが目標値は達成した。重機と運搬車両の軽油使用量及び営業車のガソリンはエコドライブの徹底で目標を達成した。CO <sub>2</sub> 排出量は軽油・ガソリンの削減で目標を達成した。本社の電気使用量は冬場の寒気で目標未達成であった。水使用の削減は節水の徹底で目標達成、自社廃棄物の削減はほぼ目標通りであった。	○
環境関連法規制	昨年改訂した環境法令等登録表に基づき、平成30年2月13日に遵守状況の評価した。その結果、問題点は無かった。	○
外部から苦情・要望	環境に関わる苦情・要望等は無かった。また、行政からの指導も無かった。	○
緊急事態の想定及び訓練	H29年8月16日に積荷状態による運搬可否判断の訓練を実施した。収集運搬作業緊急事態対応手順書に緊急事態の項目として追加し、連絡・指示について追記した。	○
前年度見直し指示に対する是正状況	・指示に従い、手選別作業の改善による選別精度の向上で、最終処分量が減少しつつある。	○
社長からの指示	・手選別による分別強化により、改善が一步前進した。ただ、最終処分単価増のため、リサイクル率向上が依然として重要な経営課題である。 ・処分後の行き先についてよく状況を把握しておくことが重要である。	

### 変更の必要性の有無

①環境方針	特に変更の必要はない
②環境目標	第4次中期計画の平成29年度目標達成に向けて取り組む。
③環境活動計画	第4次中期計画に付随する環境活動計画に基づき活動を推進する。
④環境経営システム	変更の必要はなし